

平成22年度 子どもゆめ基金オーパンドリーム事業

中学生女子バレーボール交流大会

1. ねらい

バレーボールを通じて各地域・学校とのふれあいを深め、生徒の健全育成と技術力向上を目的とし、バレーボールの普及・発展を図る。

また、バレーボール競技者・指導者同士の交流を図る。



2. 期 日

平成23年2月11日（金）～12日（土）

3. 場 所

1日目：大洲市総合体育館・国立大洲青少年交流の家（予選リーグ）

2日目：国立大洲青少年交流の家・大洲農業高校体育館（決勝トーナメント）

大洲北中学校体育館・帝京第五高等学校体育館・内子町五十崎体育館

4. 参加者

500名

5. 日 程

【1日目】

8:00 9:15 9:30

17:00

開 場	開 会 式	交流大会 予選リーグ	昼 食	交流大会 予選リーグ
--------	-------------	---------------	--------	---------------

【2日目】

9:00

16:00

決勝トーナメント	昼 食	決勝トーナメント (準決勝・決勝)
練習試合		練習試合

6. 活動内容

愛媛県南予地区の中学校女子バレーボール部を対象として、「中学生女子バレーボール交流大会」を2日間の日程で開催した。1日目は8ゾーンに分かれて予選リーグを行い、上位2チームが2日目の決勝トーナメントに進出。3・4位チームについては練習試合形式で行った。当初は30チームが参加して交流大会を行う予定であったが、事業当日の天候が積雪のため、最終的に集まったのは20チームであった。そのような悪天候にも関わらず、朝早くから集合し、元気いっぱい声が体育館に響きわたっていた。開会式の後、交流試合が始まると、どのチームもコートの中を精一杯動きまわり、ファイトあふれるプレーを見ることができた。1試合1試合、大きな声を出し、必死でボールを追いかける選手の姿に、まわりの応援も熱くなった。今回は南予という限られた地域ではあるが、お互いのチームが切磋琢磨することにより、レベルも上がっていくであろう。これからも選手たちは、勝敗に一喜一憂するだけでなく、バレーボールを通して人間的にも成長していってほしい。

